

【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

演 題

欠損部歯槽堤に重度の硬軟組織欠損が生じている一症例

演者名 関 喜英

日 付 2010年 1月 26日

keyword

1. インプラント
2. G B R
3. 歯肉歯槽粘膜形成術

抄 録

患者は歯周病の進行と咬合性外傷により臼歯部の支持骨に重度の骨欠損を生じたと考えられ、数歯が保存不可能な状態になっていた。抜歯後の歯槽堤には大きな骨欠損が生じると予想され、すでに歯が欠損している無歯顎部歯槽堤は、硬軟組織共に大きな欠損を生じていた。

良好なアンテリアガイダンスと安定したバーティカルストップを確立し、かつ、メンテナンスしやすい口腔内環境を獲得することを目指し、インプラント、G B R、歯肉歯槽粘膜形成術を含めた全顎的な治療計画を立案した。

しかしながらいまだ、ファイナルには至っておらず、これまでの治療の未熟な部分を含め、経験のある諸先輩方のご指導ご鞭撻を頂ければ幸いです。